

Morphology and Lexicon Forum (MLF) 2010

(国立国語研究所レキシコン共同研究プロジェクト 共催)

期日：2010年 7月 10日(土), 11日(日)

会場：国立国語研究所(東京都立川市) (会場案内：<http://www.ninjal.ac.jp/utility/access/>)

MLF ウェブサイト：<http://www.intcul.tohoku.ac.jp/lingcommunic/mlf/>

問い合わせ先：竹沢幸一(筑波大学) takezawa.koichi.gn@u.tsukuba.ac.jp

7月10日(土) 受付：12:30～			
発表1	13:00-13:45	三好暢博 (旭川医科大学)	アイヌ語の人称接辞に課される制約についての通言語的考察
発表2	13:50-14:35	長南一豪 (獨協大学非常勤講師)	デフォルト規則としてのインドネシア語動詞接辞-kan
発表3	14:40-15:25	スパチェワ・インナ (筑波大学大学院)	日英露語における結果構文と移動構文の統語的分析
休憩(15分)		15:25-15:40	
Motion constructions and related phenomena ワークショップ:	導入	15:40-15:45	
	第1発表者	15:45-16:25	Heidi Harley (University of Arizona)
	第2発表者	16:25-17:05	Naoyuki Ono (Tohoku University)
	休憩	17:05-17:15	
	第3発表者	17:15-17:55	Tatsuya Isono (Kurashiki Sakuyo University)
	質疑	17:55-18:20	
懇親会	18:30-20:00	場所：国立国語研究所	

7月11日(日)			
発表4	10:00-10:45	菅原 剛 (宇部工業高等専門学校)	英語形容詞の名詞前位修飾に関する一考察 —生成語彙意味論の観点から—
発表5	10:50-11:35	宮本大輔(東京大学大学院/日本学術振興会)	日本語の形容詞的「タ」形構文における出来事の含意についての分析
昼休み(75分)		11:35-12:50	
発表6 (国語研プロジェクト連携)	12:50-13:35	長谷部郁子 (筑波大学非常勤講師)	日本語の擬態語と名詞化について
発表7 (国語研プロジェクト連携)	13:40-14:25	今泉志奈子(愛媛大学)・藤縄康弘(東京外語大学)	所有と関与のあいだ:ヴァレンス拡大の意味論的基盤についての日独対照
休憩(15分)		14:25-14:40	
国語研日本語研 共同研究プロジェクト共 発表	1	14:40-15:05	栗林 裕(岡山大学)
	2	15:05-15:30	沈 力(同志社大学)
	3	15:30-15:55	上原 聡(東北大学)
	休憩	15:55-16:10	
	4	16:10-16:35	斎藤倫明(東北大学)
	5	16:35-17:00	玉岡賀津雄(名古屋大学)

* 10日のワークショップ終了後、懇親会を予定しています。会費は一般5000円、学生2000円です。参加を希望される方は、件名に「MLF 懇親会」と記入の上、氏名、所属、一般・学生の別を書いてメールで mhirayama@ninjal.ac.jp まで6月30日までにご連絡下さい。

* 11日の昼食は各自ご用意下さい。会場近辺に食事をするとところはございませんのでご注意下さい。